

2026年4月6日

上場会社名 日本鑄造株式会社
代 表 者 代表取締役社長 佐竹 義宏
(J-TO 番号 5609)

国内大型クラスのパウダーベッド式金属 3D プリンターの稼働開始

日本鑄造株式会社（本社：神奈川県川崎市）は、国内大型クラスのパウダーベッド式金属 3D プリンターの設置が無事完了し、3 月 30 日に修祓式を執り行いました。本装置は 4 月に稼働させ、10 月からフル稼働させる計画です。

これにより、当社は「260 mm x 260 mm x 290 mm」サイズの 3D プリンターを 2 台に加えて、「450 mm x 450 mm x 500 mm」サイズを 1 台、計 3 台体制となりました。3 台の金属 3D プリンターは、いずれも外部回線と遮断するなど十分な情報漏洩対策を講じてまいります。

今回、導入した装置は安定稼働しているパウダーベッド式金属 3D プリンターとしては、国内最大クラスの造形サイズと造形速度を有しております。これに伴い、造形可能重量はおおよそ 4 倍に増える見込みであり、製品のコスト削減と納期短縮が期待されます。

現在、半導体製造装置の主流は、12 インチ（約 304.8mmφ）シリコンウエハー対応の装置であり、当社内の「260 mm x 260 mm x 290mm」の金属 3D プリンターでは製造困難でしたが、本装置の導入により対応可能な造形サイズとなります。さらに、8 本レーザーによる造形速度の向上により、金属 3D プリンター製品のコスト削減と納期短縮を期待しております。

当社では、従来の低熱膨張材（LEX）を中心に、1.5GPa を超える高強度鋼（TNM）、低炭素鋼（S20C～S60C）、SUS316、SUS304、マルエージング鋼を含めた様々な材料の造形品を製造しており、今後、更なる大型化・高速化を目指した 3D プリンターの導入を検討し、少子高齢化による熟練技能者の不足やお客様からの製品の高品質化へのご要望に対応してまいります。

当社は、今後も、新たな技術開発と需要の開拓を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

〈本サービスに関するお問い合わせ先〉

日本鑄造株式会社 3D プリンター活用推進チーム TEL 070 (3269) 9705



図1 3月30日(月) 日本鑄造(株)における修祓式の様子



図2 国内最大クラスの金属 3D プリンターの外観